

学会発表渡航支援報告書

(ふりがな) 氏 名	ま めい 馬 枚	所属・職名 文学研究科社会学専修・博士前期課程
e-mail	mm2689000@gmail.com	
発表題名 (英語)	現代中国における「情人」の種類に関する一考察 <input checked="" type="checkbox"/> An Analysis of classification for "Lover" In Contemporary China	
著者名	馬 枚	
会議名 (英語)	台湾大学学生交流ワークショップ Workshop with NTU Student	
開催地(国、市)	台北	
参加期間	2010年9月2日～9月6日	
<p>2010年9月2日から9月6日までの5日間、「台湾大学学生交流ワークショップ」が台北の台湾大学において開催されました。この交流ワークショップは、2009年7月に台湾大学と京都大学の社会学を専攻する大学生・大学院生で行った、「日本と台湾の学生と若手研究者同士がお互いの報告から学び合うと同時に、次世代を担う東アジアの研究者たちが、国境を超えた友情を育みながら、アジアの文脈に根ざした社会学の発展に繋げることを目的に「東アジア社会学国際学術検討会」の引き継ぎで実施期されたものである。</p> <p>この「台湾大学学生交流ワークショップ」の発表は2つの会場に分けられ、台湾大学と京都大学の先生方が、参加者の発表のコメンテーターを務めました。また、それぞれの会場に属する大学生・大学院生が自由討論に参加しました。ワークショップの進行に当たってはすべて英語が用いられました。私自身は、婚姻外長期的な性関係の一つとしての、現代中国における「情人」の定義について研究成果を発表しました。私の考察の主眼はその「情人」に対しての中国男性による定義にありましたが、コメンテーターの発言をきっかけに、男性だけの定義がはたしてこの「情人」を定義できるのかという重要な問題を提起され、以後の研究に向け新たな着眼点を得ることができました。</p> <p>発表時間のごく限られていましたが、自由討議の際、日本・中国本土・台湾という異なる国・地域から集まった大学生・大学院生は積極的な討論が交わされ、若手研究者同士の交流の場とすることが出来ました。この「台湾大学学生交流ワークショップ」を通して、東アジアには相互理解の土台が備わっていることを深く感じました。</p>		



京都大学文学研究科 グローバル COE 「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

学会発表渡航支援報告書

